

WATARAI  
TOWN

# 度会町 防災マップ

BOSAI  
Hazard map

令和3年3月 発行

## 防災情報を **確実に** 入手しましょう！

防災行政無線の放送と同じ内容を、次の方法で入手できます。  
聞き逃しを防止、また繰り返しご確認いただくことで、  
防災情報を確実に入手しましょう。

### 度会町メール

登録いただいた方へ、防災行政無線の放送内容などがメール配信されます。

受け取ることができるメールの内容は選択することが可能です。

・防災情報 ・行政情報 ・火災情報

次のURL、二次元コードもしくは町ホームページから登録可能です。

※登録料、サービス料は無料ですが、メールの送受信にかかる通信料は利用者負担となります。

登録用サイト(携帯)

<https://service.sugumail.com/watarai>

登録用サイト(パソコン)

<https://service.sugumail.com/watarai/member/>

こちらから  
ご登録できます！



### 度会町公式 LINE

登録いただいた方へ、防災行政無線の放送内容などがLINEで配信されます。

メールと同様に受け取ることができる内容が選択可能です。

こちらから  
ご登録できます！



### 町ホームページ

防災行政無線の放送内容が、町ホームページに掲載されます。また、過去の放送内容も確認することができます。



<http://www.town.watarai.lg.jp/>

過去の放送内容掲載サイト

<https://service.sugumail.com/watarai/member/portals/>

### ケーブルテレビ文字放送

防災行政無線の放送内容が、町行政放送チャンネルの放送画面にテロップ表示されます。



※デジタル123チャンネルの放送画面下に、約10分間テロップが流れます。

町行政放送チャンネル(文字放送テロップ表示)

### 確認ダイヤル

防災行政無線の放送内容を自動音声で確認することができます。ただし、確認できる時間は放送終了後、24時間以内です。

☎0596-63-0001

☎0596-63-0002

※放送直後は、回線が混み合う恐れがあります。つながらない場合は、時間を置いてからおかけ直してください。

※通話料は利用者負担となります

**インターネット** インターネットを利用して、各防災情報を収集することができます。

◎三重県ホームページ(防災みえ) <http://www.bosaimie.jp/>

災害時の「被害状況」、「避難状況」、「学校休校状況」などを、随時お知らせする県の情報提供サービスです。

◎三重県土砂災害情報提供システム [http://www1.sabo.pref.mie.jp/mie\\_gis/start.php](http://www1.sabo.pref.mie.jp/mie_gis/start.php)

県内の土砂災害に関する警戒情報と危険箇所情報を提供しています。

◎国土交通省 川の防災情報 <http://www.river.go.jp/>

全国の雨量・水位の情報を確認することができます。

発行：度会町役場 みらい安心課

〒516-2195 三重県度会郡度会町棚橋1215-1

tel 0596-62-2424 fax 62-1647 e-mail bosai@town.watarai.lg.jp

— 令和3年3月発行 —



環境に配慮した植物油  
インキを使用しています。



# はじめに

近年、台風や豪雨による被害が甚大化しており、各地で河川氾濫や土砂災害などによる大きな被害が発生しています。また、全国各地で大規模な地震が発生しており、近い将来、南海トラフ巨大地震が高い確率で発生すると予測されています。これらの災害が重なることにより、ため池が決壊するといった複合的な災害が発生する可能性もあります。

この美しい度会町には、子ども、高齢者、身体の不自由な方など配慮が必要となる、様々な方が暮らしています。災害から身を守り、被害を最小限にとどめるためには、「自分の命は自分で守る」、「お互いに助けあって地域を守る」という気持ちを持って行動することが重要です。その行動を起こすために必要な情報をこの冊子にまとめましたので、災害への備えとして活用していただきますようお願いいたします。

## 目次

はじめに・避難について	1	ため池の氾濫に備えて	43
警戒レベルとタイムライン	3	ため池ハザードマップ	45
土砂災害とは	5	地震対策	55
土砂災害ハザードマップ	7	空中写真マップの使い方	57
洪水に備えて	23	災害時のわが家のルール	58
洪水ハザードマップ	27	空中写真マップ	59

# 避難について

## 知っておくべき5つのポイント

- 避難とは「難」を「避」けること。安全な場所にいる人まで避難所に行く必要はありません。**自宅が安全な場所にある人は、在宅避難**をすることで、避難所への移動リスクを回避するとともに、避難所での密を避けることができます。
- 避難先は、体育館、公民館だけではありません。**安全な親せき・知人宅に避難**することも考え、日ごろから相談しておきましょう。
- 避難所へ行く場合は、飲食物、マスク、消毒液、体温計など、**必要となる物は、できるだけ自ら携行**してください。持出袋の確認をしておきましょう。
- 避難する場合は、**どこの避難所が開設されているかなどあらかじめご確認ください**。  
町災害対策本部（☎0596-62-1111 / ☎0596-62-2424）
- 豪雨時の屋外への移動は、車も含め危険です。**やむを得ず車中泊**をする場合は、浸水しないよう**周囲の状況を十分確認**してください。

## 水平避難と垂直避難



災害では早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど、危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければいけません。そのような場合は、避難所への移動(水平避難)だけでなく、近隣の高い建物や自宅の2階といった高い場所への移動(垂直避難)を行い救助を待つという判断も必要です。

### 土砂災害から身を守るためのポイント

- ①住んでいる場所が「土砂災害（特別）警戒区域」かどうか確認しましょう。
- ②雨が降り出したら土砂災害警戒情報に注意しましょう。
- ③危険を感じたら早めに避難してください。



### 指定緊急避難場所一覧

指定緊急避難場所は、災害時に一時的に避難するための施設です。災害により、避難できる場所が異なります。

施設・場所名	住所	対象とする異常な現象の種類					指定避難所
		洪水	崖崩れ 土石流 地滑り	地震	大規模な 火事	内水 氾濫	
麻加江生活改善センター	度会町麻加江603-2	○	○	○	○	○	○
中川体育館	度会町麻加江516-1	○	○	○	○	○	○
長原保育所	度会町長原365	○	○	○	○	○	○
保健センター	度会町棚橋1215-1	○	○	○	○	○	○
中央公民館	度会町棚橋314	○	○	○	○	○	○
町民体育館	度会町棚橋300	○	○	○	○	○	○
度会中学校体育館	度会町棚橋300	○	○	○	○	○	○
度会中学校校舎		○	○	○	○	○	○
度会小学校体育館	度会町棚橋1679-1	○			○	○	○
度会小学校校舎		○			○	○	○
地域交流センター	度会町棚橋1453-2	○			○	○	○
棚橋保育所	度会町棚橋248-2	○	○	○	○	○	○
中之郷生活改善センター	度会町中之郷1157-5	○	○	○	○	○	○
小川郷体育館	度会町中之郷1025	○			○	○	○
旧小川郷小学校校舎		○			○	○	○
中之郷保育所	度会町中之郷1024	○			○	○	○
一之瀬公民館	度会町脇出329	○	○	○	○	○	○
一之瀬体育館	度会町脇出372	○	○	○	○	○	○
旧一之瀬小学校校舎		○	○	○	○	○	○

### 福祉避難場所一覧

福祉避難所は、状況に応じて開設します。まずは指定緊急避難所に避難するようにしてください。

施設名	住所
地域福祉センター本所	度会町棚橋1202番地
地域福祉センター 一之瀬支所	度会町南中村81番地
特別養護老人ホームかりん	度会町田間319番地18
小規模多機能型居宅介護わたらい	度会町麻加江516番地1
グループホームわたらい	
指定介護老人福祉施設特別養護老人ホームわたらい緑清苑	度会町棚橋1202番地
指定障害者支援施設・指定生活介護事業所 宮の里ミタスマモリアルホーム	玉城町宮古728番地18



# 警戒レベルとタイムライン

平成30年7月に発生した西日本豪雨を教訓に、災害発生の危険度と避難行動を促す情報を「5段階の警戒レベル」でお知らせすることになりました。

また、令和元年台風第19号や令和2年熊本豪雨等を教訓として、避難情報制度についても見直しが行われ、危機状況を簡潔に伝える情報に変わります。

(レベル5＝緊急安全確保、レベル4＝避難指示、レベル3＝高齢者等避難)

警戒レベル	警戒レベル 1	警戒レベル 2
状況	今後気象状況悪化のおそれ	気象状況悪化
行動を促す情報	気象庁の早期注意情報	気象庁の大雨・洪水注意報など
住民が取るべき行動	災害への心構えを高める	自らの避難行動を確認
マイタイムライン (記入欄)	(例) ・天気予報に注意する	(例) ・携帯電話の充電 ・自宅の浸水しそうな箇所に土のうを設置

この表はあくまでも目安です。雨の降り方などの状況によっては、表のような順番で情報が出るとは限りません。各種情報を積極的に収集し、自らの判断で避難をしましょう。

(注) 令和3年度～

## 避難は「浸水が始まる前」「自主判断」「徒歩」が原則です。

●夜間の避難は、周りの状況が確認しにくく、非常に危険です。可能な限り暗くなる前に避難しておきましょう。

**危険!**

●子ども、高齢者、身体の不自由な方などは、早めの避難が必要です。避難に支援が必要な方に協力しましょう。

●避難は自主避難で！  
●町や消防団から避難の呼びかけがあったら、速やかに避難してください。

●外出前に電気のブレーカーを切り、ガスの元栓を締めて避難しましょう。

●避難するときは、動きやすい格好で。2人以上での避難を心がけましょう。

●指定避難所が近くにないときは、近所の丈夫な建物の上の階へ一時的に避難しましょう。

大雨などの災害による危険がせまると、町から避難情報を発令し、住民の皆さんに避難を呼びかけます。

ただし、身の危険を感じたら町からの呼びかけを待たずに避難しましょう。

決して、自分で河川などの状況を見に行くなどの危険な行動は避けましょう。

ここに示すタイムラインとは、いざというときにあわてることのないよう、避難に備えた行動をあらかじめ決めておくものです。

各情報が「出てから」行動するのではなく、「出るかもしれない」ことを意識して、ためらわず行動をおこしてください。

災害に備え、各警戒レベルでとるべき行動を家族で話し合い、わが家のタイムラインを作成しましょう。

警戒レベル 3	警戒レベル 4	警戒レベル 5
災害のおそれあり	災害のおそれ高い	災害発生 又は切迫
高齢者等避難	避難指示 <sup>(注)</sup>	緊急安全確保 <sup>※1</sup>
危険な場所から 高齢者等は避難 <sup>※2</sup>	危険な場所から 全員避難	命の危険 直ちに安全確保!
(例) ・夜間に大雨の恐れがある場合は、避難所へ避難する	(例) ・避難を完了	(例) ・避難が完了していない場合は、高い建物や安全な場所に避難する

↑警戒レベル4までに必ず避難! ↓

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではないなどの理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではありません。

※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

## 情報伝達

町からの避難情報は、下図のような経路により町民の皆さんに伝達されます。



あなたの避難が、みんなの命を救う。

災害時、避難した人のほとんどが、“まわりの人が避難したから”を理由に避難を決めています。だからこそ、まずあなたから、避難をはじめてください。



# 地震対策

三重県は、全域が「南海トラフ地震防災対策推進地域」に指定されています。三重県が想定した理論上最大クラスの地震が発生した場合、度会町には最大震度7の非常に強い揺れが発生するおそれがあります。地震時にも落ち着いて避難するように心がけてください。

## ◎南海トラフで発生する地震

■南海・東南海・東海地震の想定震源域



東南海地震は、東海地震と同じく、南海トラフと呼ばれるプレートの境目で起きるプレート間地震です。政府の地震調査推進本部の調査委員会は2011年1月時点で東南海地震が今後30年以内に発生する確率を70%と発表しています。

これまでの歴史を調べても、このプレート間地震はマグニチュード8以上の巨大地震となっており、前回の東南海地震（1944年）と南海地震（1946年）では規模がかなり小さかったにもかかわらず、あわせて3万棟以上が全壊または流失し、2千人以上が死亡したといわれています。

想定される東南海地震は神戸の兵庫県南部地震の30倍といったエネルギーが一気に発散する形となります。

大きな地震がきたときは...

### 揺れ始めたら

- ①ドアを開けて出入口の確保
- ②テーブルなどの下に身を伏せる

### 揺れがおさまったら

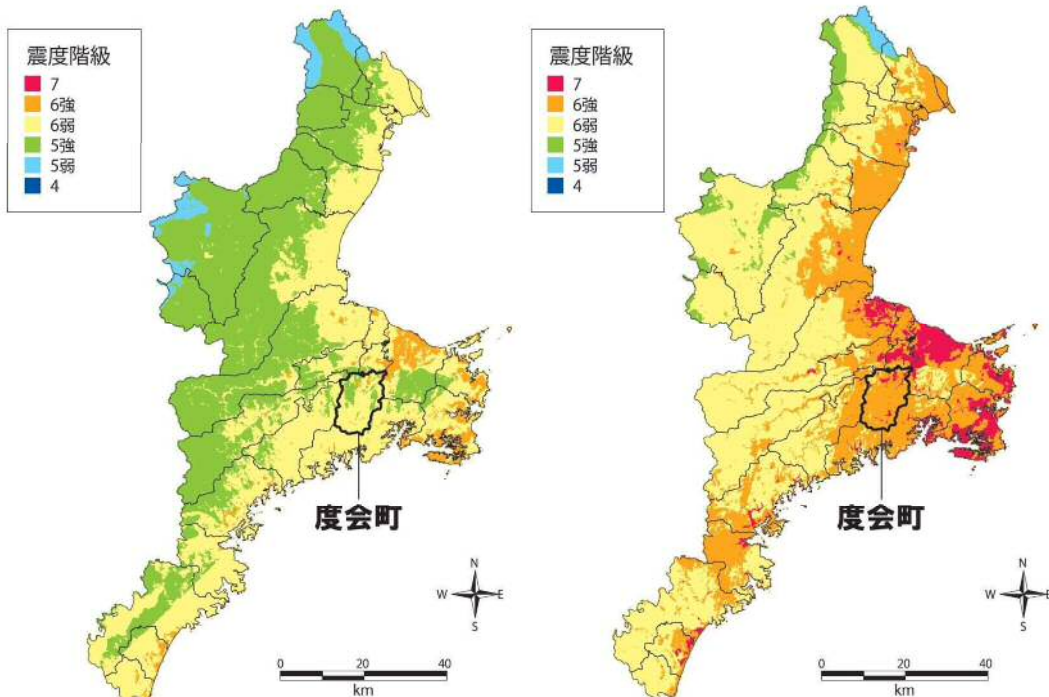
- ③火が出て、あわてず消火
- ④ガラス等の破片に注意
- ⑤隣近所に声を掛け、安全確認

### 避難するときは

- ⑥建物や塀の崩壊に注意
- ⑦避難に車は使わない、必ず徒歩で
- ⑧動きやすい服装で、持ち物は最小限に
- ⑨ラジオなどで正しい情報を入手する

## ◎過去最大クラス(左)と理論上最大クラス(右)南海トラフ地震による強震動の比較

過去最大クラスの地震で震度6弱以上が想定されている地域の大半において、理論上最大クラスの地震では、震度6強または7が想定されている。



## ◎火災への注意



●台所などで火を使っていたら

・火が出ても落ち着いて初期消火を行う。  
大きく揺れているときに火を消そうとすると大やけどをする場合があるので注意!

## 安全に避難する4つのポイント

- ①天井まで火が燃え移ったら避難。
- ②避難は、子ども、高齢者、身体の不自由な方を最優先。
- ③エレベーターは使わない。
- ④煙の中を逃げるときは、濡れたタオルで口を覆い、腰を低くする。



## ◎地震時の注意 ～避難はあわてず、落ち着いて～

●よく知った避難コースを通る  
※土砂災害危険箇所は要注意!

●避難は徒歩で  
●消防団や役場の指示に従って行動する

●ガスの元栓をしめ、電気のブレーカーを切る  
●火の始末、戸締まりを

●非常持ち出し品は少なくする  
●1人に1つ



●たれ下がった電線にさわらない



●救護が必要な場合は、協力しあって行う



●外出中の家族のためにメモを残す



●ヘルメットや防災ずきんで頭を保護する



## ◎非常時の持出品 重さの目安は男性で15kg、女性で10kg程度です。

### 一次持出品 ～避難するときに最初に持ち出すもの～

**食料関係**  
□非常食(乾パン・缶詰・レトルト食品・粉ミルク)  
□飲料水 □サランラップ

**緊急医薬品**  
□救急薬品 □三角巾  
□ガーゼ □消毒液  
□ばんそうこう □きず薬

**道具類**  
□缶切り(ナイフ) □携帯ラジオ  
□懐中電灯 □予備の電池  
□ロープ □ローソク



**安全対策品**  
□ヘルメット(防災ずきん)  
□携帯レインコート  
□軍手

**衣類**  
□下着 □靴下  
□毛布 □タオル  
□眼鏡(老眼鏡)

**貴重品**  
□現金  
□印鑑・預金通帳

### 二次持出品 ～災害復旧までの数日間を自活するための備蓄品～

**飲料水**



飲料水は1人一日あたり3ℓを目安に。ポリタンクにも貯水。お風呂の水も抜かず、雑水に。

**非常食**



非常食は、そのまま食べられるか、お湯を足す程度の、簡単な調理で済むもの。

**生活用品**



生活用品は、燃料(短期間なら卓上コンロや固形燃料、ガスボンベも多めに)、ブルーシート、寝袋、洗面用具、ドライシャンプー、トイレトペーパー、ビニール袋、新聞紙、ロープなど。アウトドア用品は結構役立ちます。

## ローリングストック法を!

「非常時には非常食を」と思っていないか。非常時に食べるものは必ずしも非常食ではなく、日常食べているもので足りる。例えば缶詰やカップラーメン、レトルト食品などです。こういったものを普段の買い物のときに少し多めに買い置きし、日々使いながら減った分をまた買い足すことで、特別な準備や出費をせずに備蓄をすることができます。